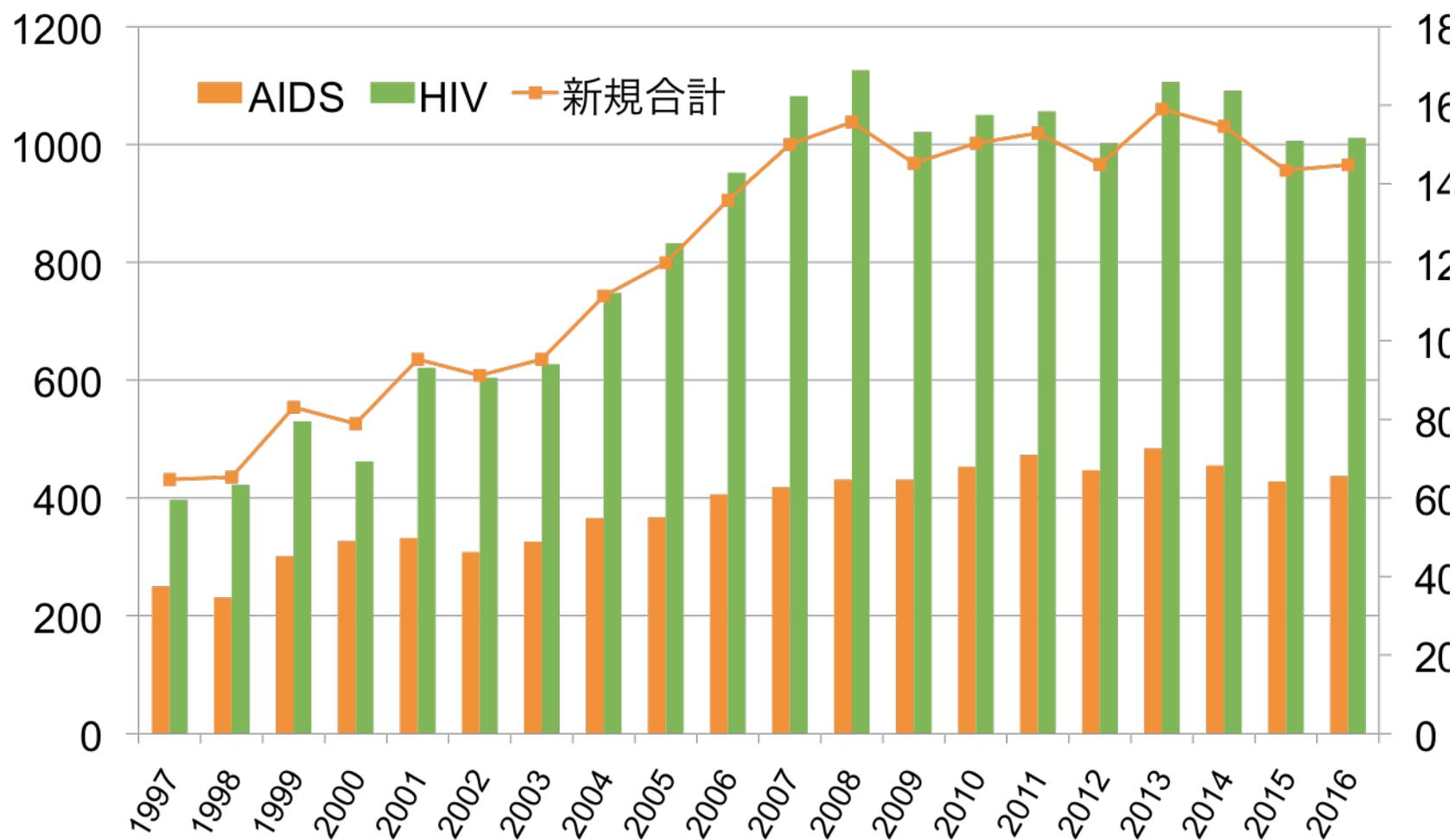


# 広島県における エイズ対策の現状

広島大学病院 エイズ医療対策室

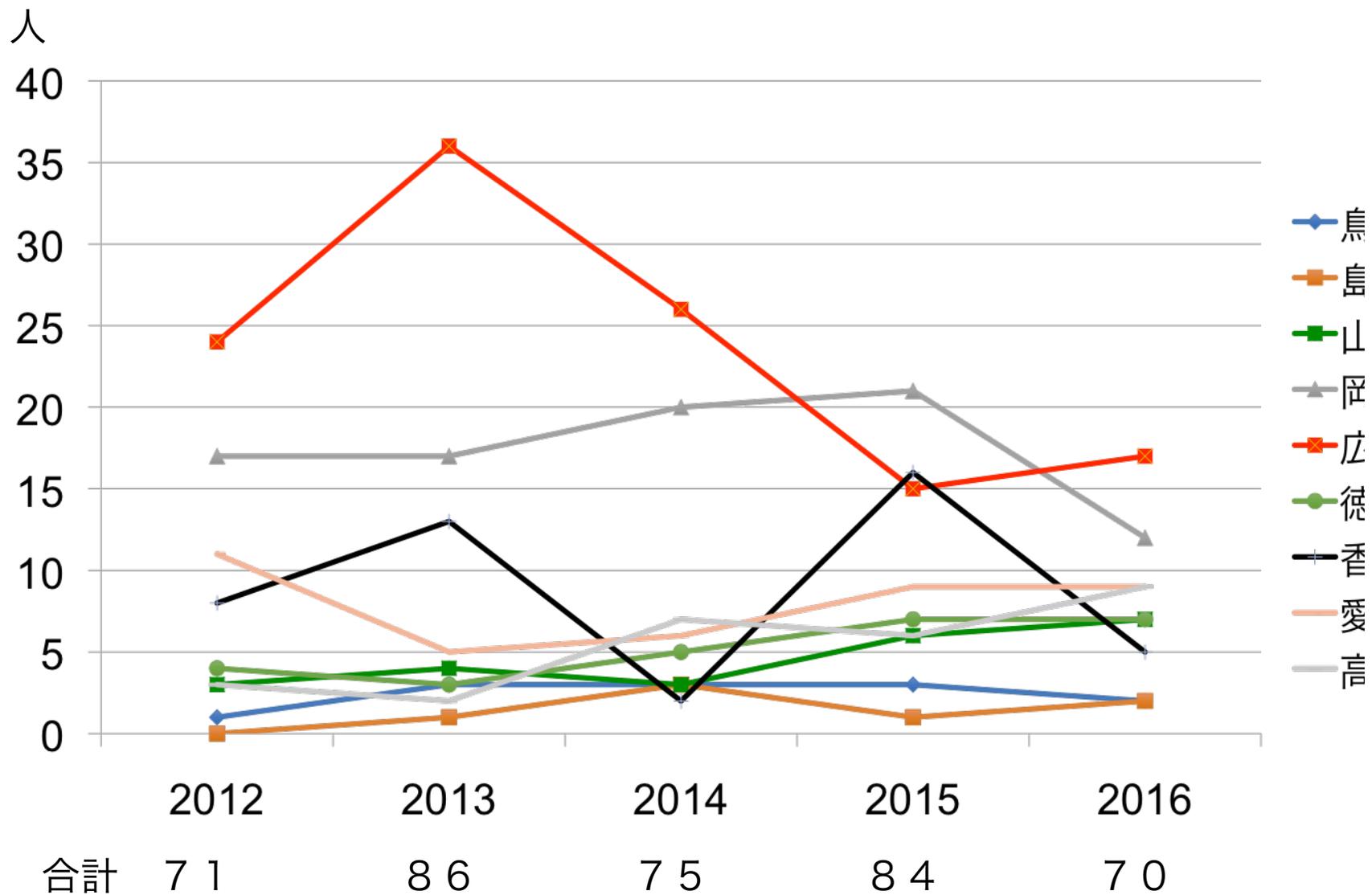
藤井 輝久

# 日本のHIV/AIDS年次毎新規患者数



厚生労働省エイズ動向委員会報告. 2017.8.31より

# 近5年のHIV/AIDS新規感染者・患者報告数



# 2013年と2016年を比較

表 新規 HIV 感染者・AIDS 患者報告数 上位 10 位の自治体

自治体		報告数	自治体		人口 10 万 対
1	東京都	363	1	東京都	2.729
2	大阪府	172	2	大阪府	1.944
3	神奈川県	89	3	沖縄県	1.060
4	愛知県	65	4	神奈川県	0.980
5	福岡県	46	5	香川県	0.914
6	千葉県	42	6	福岡県	0.904
7	兵庫県	32	7	愛知県	0.873
8	埼玉県	30	8	佐賀県	0.833
9	北海道	23	9	岡山県	0.829
10	広島県	21	10	広島県	0.739

b AIDS 患者 上位 自治体

自治体		報告数	自治体		人口 10 万 対
1	東京都	110	1	東京都	0.827
2	大阪府	54	2	大阪府	0.610
3	愛知県	33	3	沖縄県	0.565
4	千葉県	30	4	広島県	0.528
5	神奈川県	30	5	滋賀県	0.494
6	兵庫県	21	6	千葉県	0.484
7	静岡県	16	7	栃木県	0.453
8	福岡県	16	8	愛知県	0.443
9	広島県	15	9	岐阜県	0.439
10	北海道	14	10	石川県	0.431

2013年

a HIV 感染者 上位 自治体

自治体		報告数	自治体		人
1	東京都	370	1	東京都	
2	大阪府	140	2	大阪府	
3	愛知県	70	3	沖縄県	
4	神奈川県	57	4	岐阜県	
5	福岡県	46	5	愛知県	
6	千葉県	31	6	福岡県	
7	埼玉県	25	7	山梨県	
8	北海道	23	8	徳島県	
9	岐阜県	20	9	熊本県	
9	兵庫県	20	10	高知県	

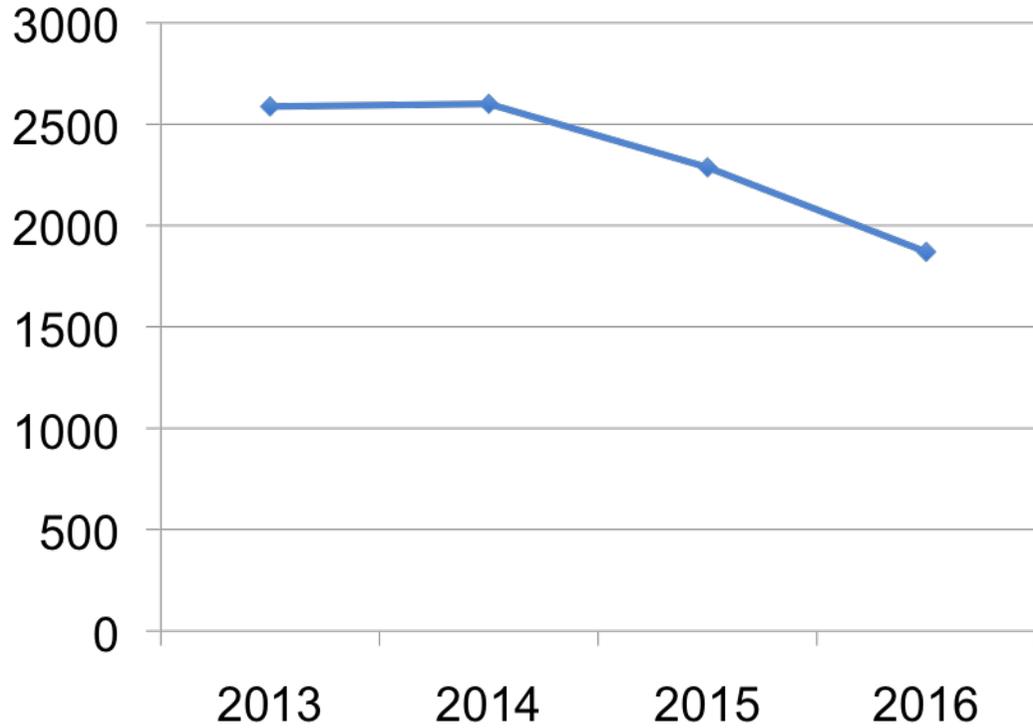
b AIDS 患者 上位 自治体

自治体		報告数	自治体		人
1	東京都	97	1	福岡県	
2	大阪府	48	2	佐賀県	
3	福岡県	46	3	東京都	
4	愛知県	32	4	高知県	
5	神奈川県	26	5	大阪府	
6	北海道	19	6	群馬県	
6	千葉県	19	7	愛知県	
8	埼玉県	15	8	愛媛県	
8	兵庫県	15	9	北海道	
10	群馬県	9	10	沖縄県	

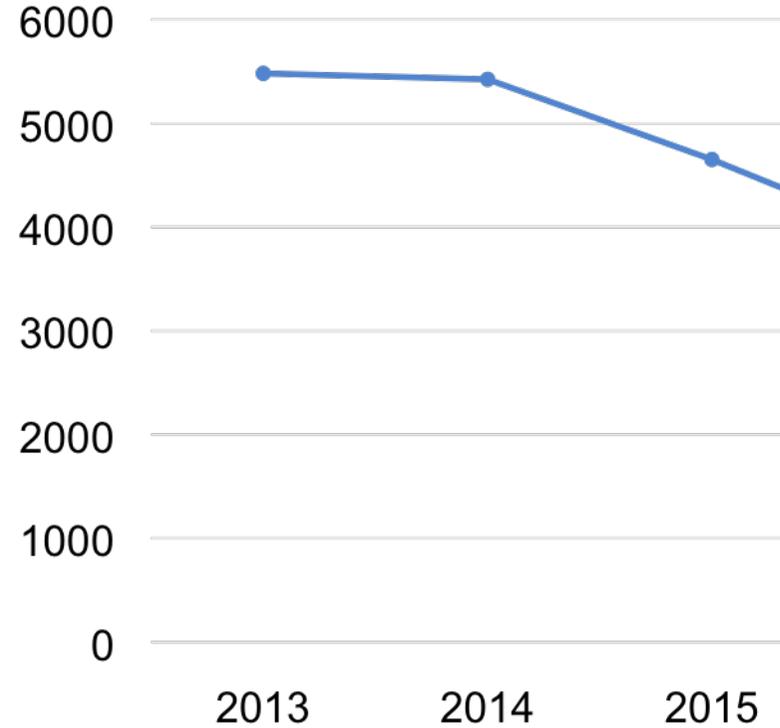
2016年

# 検査/相談件数は減っている……

## 保健所等における検査件数



## 保健所等における相談件数

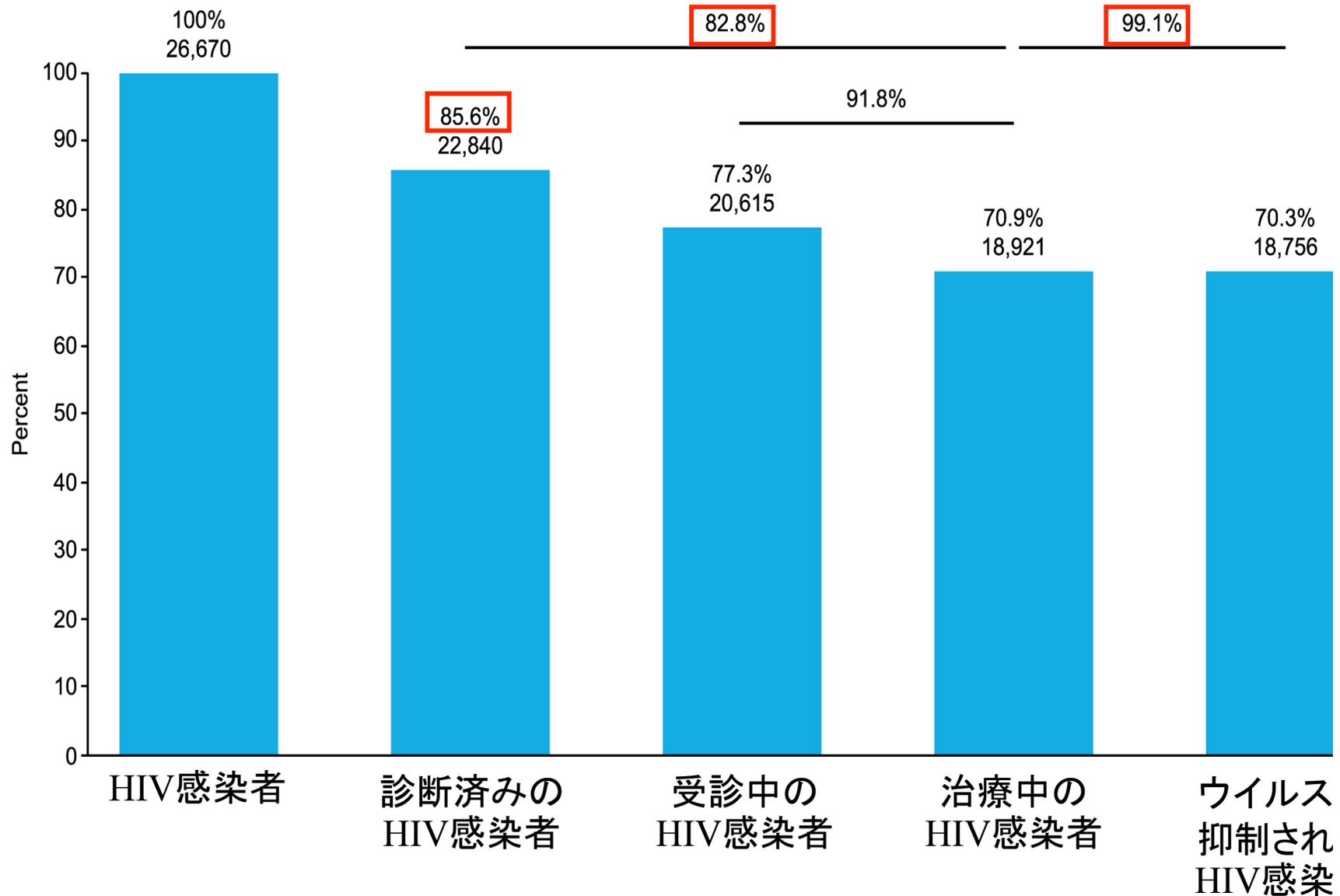


# UNAIDSの提唱する90-90-90



2020年までの世界の目標！

# 日本はどうか？



# いや、そうではない.....

- エイズ感染 九州で急増 佐賀、熊本  
過去最多 16年福岡は61%増（西日本新聞 2017.9.22）
- (記事より) 専門家は、感染者の多いアジアとの往来が増えてウイルスが持ち込まれるケースや、予防啓発活動の不十分さが一因とみており「危機的状況で、より効果的な予防啓発が必要だ」と警鐘を鳴らしている。



2-3年後、広島もそうなるのかもしれない

# 予防・啓発・検査（一般向け）

- エイズピュアエデュケーター学生等研修会
  - 主に大学生を対象に、エイズに対する知識の普及や予防啓発
- NGOと連携して啓発資料の作成
- 世界エイズデーに合わせたイベント検査\*1
  - 昨年までは、エイズ検査普及週間（6月第1週）にも行ってきたが、協力医関係上、今年度は12月の1回のみ。
- 日曜検査
  - 毎月第3日曜日@県立広島病院
- 夜間検査\*1
  - 毎月曜日夕方18:00~19:40
- クリニック検査
  - 広島市内の2施設→拠点病院でのエイズ検査に準じた検査費用補助

\*1 実施三

# 研修・医療体制

- HIV抗体検査従事者向けの研修\*2
- 職種別研修（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、心理ナラー、ケースワーカー）
- 全職種での研修\*2
- 高齢者施設向けの感染症研修会(厚労省研究班との協同)
- 慢性期病棟を有する病院、介護施設等における出前研修
- エイズ受療協力医療機関
  - 18施設から25施設へ増加→施設内での検査の普及（早期発見）  
HIV/エイズ関連疾患以外の治療及びケア（生活習慣病、認知症）

\*2 広島県臨床心

\*3 広島大学病院

# 医療者・ケア提供者向けの研修会

職種	日付	
医師 (拠点病院、非専門病院勤務者)	平成29年9月17日 (日)	
歯科医師 (県歯科医師会と共催) (県内開業歯科医)	平成29年12月3日 (日)	大竹市で開催
薬剤師 (拠点病院・門前薬局勤務者)	平成29年7月29日 (土)・30日 (日)	広島市で開催
看護師 (拠点病院勤務者)	平成29年6月14日 (水)・15日 (木)&7月5日 (水)・6日 (木) (初心者向け) 平成30年1月20日 (土) (アドバンストコース)	
心理職(初心者向け)*2	平成29年10月14日 (土)	
心理職・福祉職合同*2 (上級者向け, 拠点病院勤務 または派遣カウンセラー対象)	平成29年7月30日 (土)・31日 (日) &平成29年1月21日 (土)・22日 (日)	
福祉職 (拠点病院・非専門施設勤務者)	平成29年8月26日 (土)・27日 (日)	岡山市で開催
医師・看護師 (四国拠点病院・地域の医院・病院)	平成29年9月24日(日)	松山市で開催
全職種 (中核拠点病院スタッフ) *2	平成30年3月3日 (土)・4日 (日)	松江市で開催

\*2 広島県臨床心理士会

# 非専門施設に正しい知識を！ (出前研修)

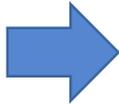
- 対象医療機関を以下の通り（対象地域は中国四国全域）
  - 病院(エイズ拠点病院は除く)、医院
  - 訪問看護ステーション、透析施設
  - 介護福祉施設、居宅サービス事務所
  - 障害者福祉施設、障害者福祉サービス事務所
- 講師は基本医師1人で1時間で終了
- 講師への謝礼や交通費は不要



中四国エイズセンターのURL→「出前研修のご案内」から  
用紙をダウンロードして、FAXにて申し込み

地域の施設  
ご紹介下さ

# 広島県エイズ対策推進プラン

- 2013年策定
  - 基本理念
    - エイズを正しく理解する
    - 希望するときに安心して相談・検査が受けられる
    - HIV感染者・エイズ患者が専門的な治療を受けながら、他の疾患しても安心して治療が受けられる
  - 5つの目標を立てて、それぞれ数値目標を設定
    - 検査・相談件数の減少により、目標達成できないものもあった
  - エイズ・性感染症予防指針改定を受けて本年度改定予定
    - 個別施策層に対する普及啓発
    - 医療機関における検査・相談体制の整備
- 追加  早期医療

# HIV expertを育てればよいのか？

- 抗HIV薬は、強力かつシンプルになっている
  - 1回数錠、1日3-4回 → 1日1回1錠（Single Tablet Regimen）
  - 推奨レジメンは、数通りのみ。
  - アドヒアランスが悪くても、薬剤耐性ができにくい
- 日和見感染症に対する新たな治療は、最近出現していない
  - 以前からある薬剤の用量・用法の変更のみ。
  - 「早期発見・早期治療」の時代となり、重篤な日和見感染症は減っている
- 最近話題になっているのは
  - Aging
  - エイズ非関連腫瘍

# 今後の課題

- エイズ診療は総合診療
  - 血液内科、呼吸器内科などの専門科のみで診療する時代ではな
  - た。
  - 現在、拠点病院でHIV感染症を診る診療科は、総合診療科が最
  - い。
- 内科医院・クリニックは、総合診療では？



広島県内でも、開業内科医やそのスタッフを対象に  
啓発・教育を行っていく必要がある